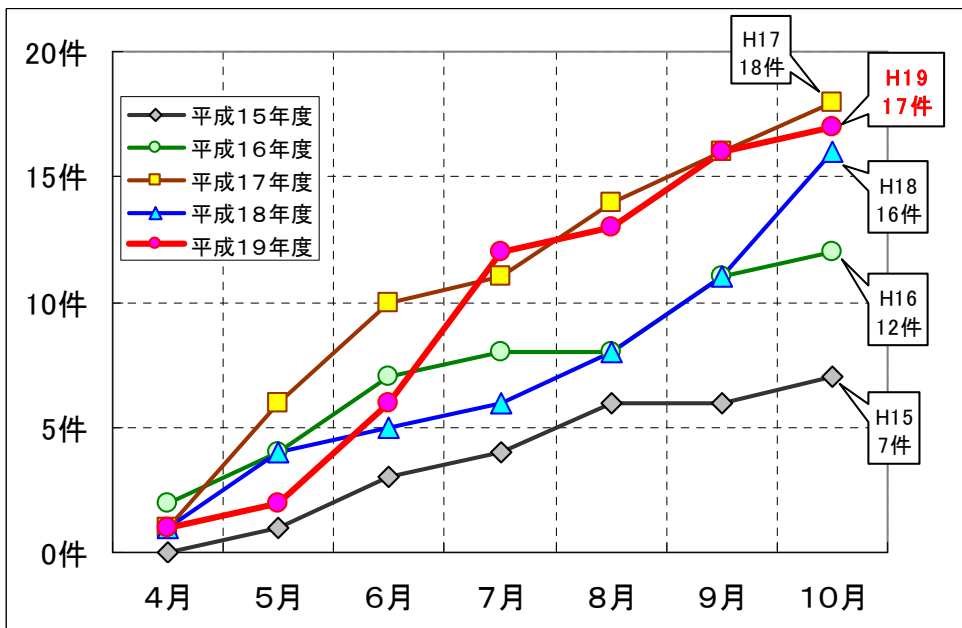


## 地下埋設物の損傷事故が3年連続多発 《平成19年度の発生状況》

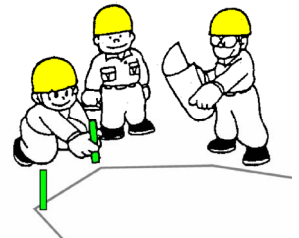
月別埋設物損傷事故件数（累計）



- ◇道路工事・維持作業等において、地下埋設物を損傷させる事故が減少しない。
- ◇今年度も10月までに17件の事故が発生し、昨年度の同月事故件数を超えている。
- ◇事故の多くが確認不足などに起因している。
- ◇特に多いのは、バックホウ等の機械作業による損傷事故で7件発生している。

### ☆事故防止対策（案）

- 地下埋設物の位置確認には、必ず関係者と現地立会を行う。
- 事前打合せ・事前調査・作業計画・確認の徹底を必ず行う。
- 埋設物付近の掘削作業では、バックホウ等の機械作業を避け、人力作業を基本とする。



### 〔埋設物破損事故事例〕

#### 《試掘にもかかわらず情報管路や光ケーブルを損傷！！》

#### ◇事故の概要

道路関連工事において、地下埋設物の試掘にもかかわらず管理者の立会もなくバックホウで掘削し、情報管路（IRN管路）2条と光ケーブル1条に損傷を与えた。

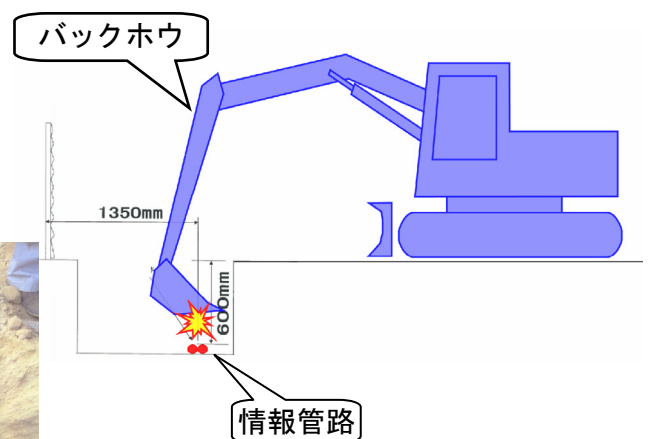
#### △事故の原因

管理者の立会がないままの作業であり、手掘りではなくバックホウによる作業など埋設物管理者との協議事項の無視や作業手順を守らなかったことが事故に繋がった。

損傷状況写真



情報管路



（裏面につづく）

**まもなく冬期シーズンを迎えます。  
事事故事例から事前対策をよく検討して下さい。**



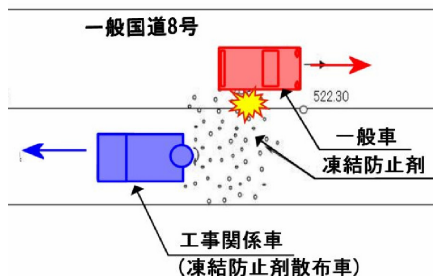
**〔事事故事例①〕**

**凍結防止剤散布で一般車に損傷を与える！！**

◇事故の概要〔雪害対策作業〕

雪害対策作業において、一般国道を凍結防止剤散布車にて、凍結防止剤（塩化カルシウム）を散布中、対向車線を走行していた一般車に凍結防止剤の固まりが当り、側面を損傷させた。

凍結防止剤に3cm程度の固まりがあった模様で、散布幅の確認が出来ていなかった。



凍結防止剤散布車



**☆事故防止対策（案）**

- 作業開始前に散布幅を調整し確認する。
- 凍結防止剤散布車に薬剤を投入する前には、ホッパー内を点検して固まりが残っていないか確認する。結露して薬剤が固まることがある。
- 作業員に対し、作業上の注意や安全指導等をより徹底する。

**〔事事故事例②〕**

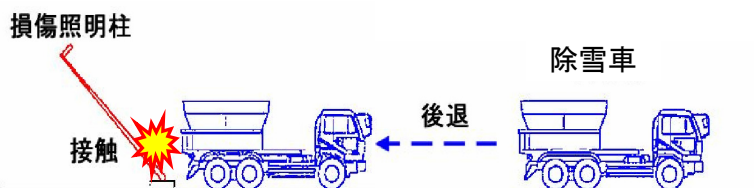
**バックして照明設備を損傷！**

◇事故の概要〔道路除雪作業〕

パーキングエリアの除雪作業中、作業範囲が広いため前進後退の繰返し作業を行っていたところ、後退時にパーキングエリアに設置されていた照明設備に気付かず衝突した。

作業手順では除雪車両の後退時に運転助手の誘導を付けて行うことになっていたにもかかわらず、誘導員を付けず作業を行っていた。

作業方法を遵守させる指示が徹底されていなかった。



損傷した照明柱



除雪車

**☆事故防止対策（案）**

- 作業手順の遵守を徹底する。
- 安全教育・指導により安全意識の向上を図る。
- 誘導員や笛、警笛等を使用した合図方法を決め、安全確認を徹底する。

**＋ 12月1日より12月15日は、平成19年度第2回工事安全強化期間です。**



**☆一人一人が安全管理の責任者！  
☆気づいたその場で即改善！**

